

ふくおかマイマイさがし成果レポート

2019年9月～10月末に実施された、福岡市保健環境学習室 まもるーむ福岡主催「ふくおかマイマイさがし」の成果を報告します。



はじめに

マイマイ（かたつむり）は、古くから童謡にも歌われるほど、私たちの暮らしに身近な生き物です。

今回、私たちの身近にどの程度のマイマイとの出会いの機会があるのかを調べるとともに、意識的に身近なマイマイに目を向けるきっかけとなることを目指し、2019年9月～10月末までの期間、SNSとメールを活用した市民参加型生き物調査「ふくおかマイマイさがし」を実施しました。

合計20名の市民に情報をお寄せいただきました。投稿数としてはFacebookから17件、Twitterから11件、メールで3件、合計31件の情報をいただきました。また、1名の方からは2000年から19年間の100件以上のマイマイとマイマイに関わりの深い生物写真をご提供いただき、そのうち2019年の9件のみを基礎データとして使用しました。ご協力誠にありがとうございました。

以下、その結果を報告いたします。便宜上、ここでは陸上に生息する貝類を広く「マイマイ」と呼んでいます。

結果概要

報告されたマイマイは合計で55件。これは1個体を1件としましたが、集団で見つかったキセルガイ類とオオクビキレガイについては、1報告を1件として数えました。以後、件数はすべてこの数え方を使用します。

写真等から推定できた種類とその件数を、表1に示します。種類数は12種で、もっとも報告件数が多かったのはツクシマイマイ（18件）でした。

写真等からわかった発見場所を表2に表しました。住宅地が20件でもっとも多く、神社（11件）、山林（9件）と続きます。マイマイに出合うポイントとして、福岡の住宅地でも出合うチャンスは多いということと、神社という存在が大きいことがわかります。

なお、報告があった地域はすべて福岡県内で、45件が福岡市内（中央区、博多区、東区、西区、南区、早良区）、10件が福岡市外（糸島市、北九州市、みやま市、添田町）でした。



ふくおかマイマイさがしでは、名刺サイズの「マイマイスケール」を活用しました。（写真：Facebook投稿より）



ツクシマイマイなどの報告例（Facebook投稿より）

表1. 推定種と報告件数

キセルガイ類とオオクビキレガイは1報告1件、それ以外は1個体1件とした。

種名	件数
ツクシマイマイ	18
ウスカワマイマイ	6
ヤマナメクジ	6
キセルガイ類	4
ツシマケマイマイ	4
キュウシュウシロマイマイ	3
オオクビキレガイ	3
チャコウラナメクジ	2
コベソマイマイ	2
オナジマイマイ	1
ウラジロベッコウ	1
アズキガイ	1
不明	4
計	55

表2. 発見場所

発見場所は写真と投稿内容から推測した。

発見場所	件数
住宅地	20
神社	11
山林	9
公園	8
農地	2
市街地	1
不明	4
計	55

大きなマイマイ

福岡県に生息することが知られている大型のマイマイは、ツクシマイマイとコベソマイマイです。

今回見つかった全 55 件のうち、20 件が大型種で、内訳はツクシマイマイが 18 件、コベソマイマイが 2 件でした。発見場所はツクシマイマイが神社 7 件、住宅地 6 件、山林と公園が 2 件、不明 1 件で、コベソマイマイは 2 件ともに山林でした。

ツクシマイマイの生息地が神社、住宅地、山林まで幅広いのに対し、コベソマイマイのおもな生息地は山林です。そのため、今回のマイマイさがしではツクシマイマイがほとんどを占めたと考えられます。

ツクシマイマイはその大きさと見つかりやすさから、ふくおかのかたつむりを代表するマイマイだと言えます。特に、神社がツクシマイマイと人との出会いを生み出す重要な場所になっていると考えることができます。



ツクシマイマイ (Facebook 投稿より)

小さなマイマイ

●ウスカワマイマイ

大型種のツクシマイマイに次いで報告が多かったのが、ウスカワマイマイで、6 件の報告がありました。ウスカワマイマイは小型のマイマイですが、福岡市中央区天神から早良区の背振まで、市街地、公園、農地で見つかっており、生息域の幅広さがうかがえます。

●ツシマケマイマイ

4 件の報告がありました。ツシマケマイマイはこれまで、対馬のほか、長崎県、福岡市、山口県下関市、熊本市などで発見された記録があり、福岡県版レッドデータブックでは「情報不足」とされています。今回は住宅のベランダや公園などで見つかっており、身近な地域に多数生息している可能性が示唆されました。

●そのほかの小さなマイマイ

キュウシュウシロマイマイの報告が 3 件ありました。すべて同じ発見者が西区の住宅地でつけたものです。

ウラシロベッコウの報告は 1 件で、ベッコウマイマイ類では唯一の報告です。神社周辺での発見でした。

オナジマイマイは外来種で、一般に人里に多い種とされていますが、今回の報告は 1 件にとどまりました。ただし、不明種とした 4 件のなかに含まれている可能性があります。

添田町からアズキガイ 1 件の報告がありました。福岡県 R D B で絶滅危惧 II 類に指定されています。



コベソマイマイ (Facebook 投稿より)



ウスカワマイマイ (メール投稿より)



ツシマケマイマイ (メール投稿より)

ナメクジのなかま

ナメクジ類は、ヤマナメクジとチャコウラナメクジの2種が報告されました。

ヤマナメクジがウスカワマイマイに並ぶ6件も報告されているのに対し、チャコウラナメクジは2件しか報告がありませんでした。

チャコウラナメクジは外来種ですが、福岡ではもっとも普通に見られるナメクジです。今回の報告数は、実際の福岡の生息状況に対して少なかつた印象を受けます。これは、チャコウラナメクジが人家付近に身近にありふれ過ぎていて、嫌われやすいナメクジでもあるので、今回のマイマイさがしであえて報告するに至らなかったことが考えられます。

ヤマナメクジはおもに山林に生息するため、身近に出合う機会は少ないと考えられます。それでも6件報告されたのは、最大20cmにもなる大型のナメクジで、発見の際のインパクトが大きいためでしょう。今回は山林や、山林近くの神社、公園で発見されています。興味深いことに、1件だけ例外的に住宅地でも見つかりました。



ヤマナメクジ (メール投稿より)



チャコウラナメクジ (メール投稿より)

キセルガイのなかま

キセルガイ類は4件の報告がありました。1カ所に複数個体が見つかった場合も1件と数えているため、個体数ではもっと多くの数が見つかっています。

キセルガイ類は細長い左巻きのマイマイです。キセルガイ類は写真での種の推定が難しく、正確な把握には現地調査が必要です。今回、住宅地と神社で発見されましたが、外見上それぞれ別種である可能性が高いと考えられます。



キセルガイ類 (Twitter 投稿より)

オカチョウジガイのなかま

オカチョウジガイ類は、細長い右巻きのマイマイです。今回、オオクビキレガイが3件報告されました。

オオクビキレガイは地中海沿岸地域を原産とする外来種で、日本では1988年に北九州市戸畑区で生息が確認されて以降、各地に広がっています。自家受精(交尾をせずにお卵を産む)ができるため、個体数が増加しやすく、植栽などに紛れて分布を拡大していると考えられます。今後も注意する必要があるようです。



オオクビキレガイ (メール投稿より)

とっても小さなマイマイ

今回種の推定ができなかったうちの1件は、成長しても数ミリにしかならない、微小なマイマイと推定しました。微小種については住宅地にも多数生息していると予想されますが、報告はこの1件のみであり、意識的に探さないと出会いづらいと考えられます。

見つからなかったマイマイ

今回分析に使用した2019年分以外にも88枚のマイマイ写真(2000年～2018年撮影分)を提供していただいたFさんの写真には、今回のマイマイさがしでは報告がなかった種も写っていました。それらの種とは、ナメクジ(フタスジナメクジ)、フリイデルマイマイ、シメクチマイマイ、ヤマタニシ(以上、発見場所は福岡市内)、そしてコハクオナジマイマイ(那珂川町)と推定されました。

ナメクジとフリイデルマイマイの写真は中央区の公園という身近な場所で撮影されたものであり、現在もそれらのマイマイが生息している可能性があります。それにもかかわらず、今回のマイマイさがしで報告がなかった理由は、期間が2ヶ月と短かったことなどが考えられます。

ほかにも、見つかっていない種は数多くあります。たとえば、湿った草地を好むオカモノアラガイ類の報告がなく、湿地と人との接点が少なくなっていることや、生息環境の減少が心配されます。

おわりに

今回は調査期間が短く、報告件数も限られていたので、別の季節に実施すればまた異なる結果が得られるかもしれません。それでも、人のくらしに身近な場所で、専門家でなくとも多くのマイマイが見つかることがわかりました。住宅地で多くのマイマイが見つかっており、また、福岡では神社が多くの人とマイマイとの出会いを生み出す場所になっている可能性も明らかになりました。

代表的な身近な生き物であるマイマイは、ふくおかの人と自然とのつながりの深さを表す一つの指標となるかもしれません。これからも、みなさんの身近にいるマイマイとの出会いを、大切にしていだければうれしいです。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



微小な種と思しきマイマイ (Facebook 投稿より)



ツクシマイマイ (メール投稿より)



手作りのスケールを使用した方もいました (Facebook 投稿より)

【参考文献】西浩孝・武田晋一(2015)『カタツムリハンドブック』(文一総合出版)／野島智司(2015)『カタツムリの謎』(誠文堂新光社)／東正雄(1995)『原色日本陸産貝類図鑑』(保育社)／福岡県レッドデータブック <http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/kankyo/rdb/> (2019年12月閲覧)／松隈明彦・武田悟史(2009)『外来種オオクビキレガイ(軟体動物門腹足綱)の日本での分布状況と移動方法』九州大学総合博物館研究報告 7, 35-84

ふくおかマイマイさがし成果レポート 2020年3月
福岡市保健環境学習室 まもるーむ福岡
電話 092-831-0669 FAX 092-831-0670
企画：NPO 法人グリーンシティ福岡
監修：野島智司(マイマイ計画)